

あ と が き

本調査のねらいは、本県小・中学校における授業研究の実態を明らかにして、授業改善のための基礎資料を収集することにあった。すでに、「調査結果の要約」でみたように、私たちは、小・中学校における授業研究の実態について、いろいろと知ることができ、一応調査の目的が達せられたと考えている。

この調査から、授業研究実施上の問題点を大きく三点にまとめることができた。

1. 時間がとれないこと。
2. 研究授業の指導案の作成が難しいこと。
3. 授業のねらいが、どれだけ達成されたのかの判定が難しいこと。

これらの問題を、いったいどのように解決していったらよいだろうか。私たちは、現在、これに対する有効適切な解決策を持ち合わせてはいない。しかし、観察の視点、分析の視点を明確に位置づけた指導案をつくること、それに基づく観察記録の方法を工夫することなどによって、いくらかでも解決できるのではないかと考えている。

今後、これらの問題をさらに検討し、具体的な解決策をみいだしていきたい。

研究委員

委員長	教科教育部長	根本 敏雄		
副委員長	教科教育係長	古関 斉		
研究主任	教科教育部員	氏家 仁		
委員	教科教育部員	渡辺 十三	大槻 忠	
		斎藤 栄二	佐川 文夫	
		吉成 尚武		
	科学技術教育部員	遠藤 俊博	神山 道夫	
協力員	教科教育部員	太田 勝弘	境野 啓二	
		半澤 正一	吉田伊勢吉	